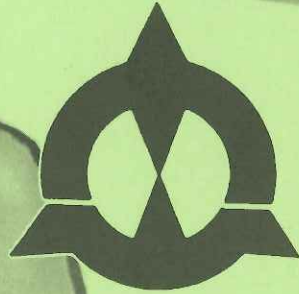


勝山市のすがた



平成 8 年



勝 山 市

は し が き

ここに平成8年版「勝山市のすがた」を刊行いたします。

この統計書は、勝山市の人口、産業、経済、教育など各分野にわたる基本的な統計資料を総合的かつ系統的に収録いたしました。本書が各方面において広く利用され、市勢の動向の的確な把握と、現状の正しい認識に役立つことができれば幸いです。

編集にあたりましては、内容の整備に務めました。なお不備な点があるかと思えます。今後とも各方面からご指導をいただき、より一層内容の充実を図ってまいりたいと存じます。

最後に、本書の刊行にあたり貴重な資料の提供ならびにご協力をいただきました関係各位に対し厚くお礼申し上げます。

平成8年9月

勝山市長 今 井 三右衛門

凡 例

1. 本書は勝山市に関する市勢の各般にわたる基礎的な統計資料を収録したものである。
2. 本書は平成7年、または、平成7年度の統計資料を主として収録し、比較対照の便を考慮して過去の資料も合わせて掲載してある。
3. 資料は官公庁、団体、会社および庁内各課などからの提供・報告または当課においては統計資料から直接収集したものである。
4. 資料の出所名は各表の右下に掲げ、年次、年度、表中の数字の単位は表の右上に掲げたが、一見して明らかなものは省略してある。
5. 数字の単位未満は四捨五入したので、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。
6. 統計表中「年次」とあるのは年間（1月～12月）、「年度」とあるのは年度間（4月～翌3月）を示している。
7. 統計表中の符号の用途は次のとおりである。
 - 「－」… 皆無または該当数字なし
 - 「…」… 不詳
 - 「X」… 1または2の事業所に属する数を秘匿としたもの
 - 「△」… 減少
8. 本書に収録した統計資料について、さらに詳細な数字が必要な場合、あるいは疑義のある場合には、各表ごとにある各資料出所機関、または、本市企画課に照会してください。

目 次

1. 市制施行及び市章の説明	1	25. 歴代収入役	21
★自 然	1	26. 市職員数	21
2. 地 勢	1	27. 最近の選挙投票状況	22
3. 位 置	1	28. 地区別基本選挙人名簿登録者数	22
4. 土 地	1	29. 市議会の機構	24
5. 沿 革	2	30. 議会活動状況	24
6. 産 業	2	31. 請願陳情処理状況	25
7. 面 積	3	32. 歴代の市議会議長と副議長	25
★歴 史	4	33. 市議会議員	25
8. 勝山市の歴史	4	★財 政	26
★市民生活	10	34. 平成8年度一般会計予算	26
★気 象	12	35. 平成7年度一般会計歳入歳出決算	26
9. 気象の概況	12	36. 平成8年度特別会計予算	27
10. 過去の気象最高(低)記録	13	37. 平成7年度特別会計決算	27
11. 寒候期年別最深積雪	13	38. 平成7年度市税負担状況	28
12. 月別平均気温・降水量の準平年値	13	39. 市税の納税者数	28
★世帯と人口	14	40. 市有財産の状況	28
13. 世帯数と人口	14	★教育文化	29
14. 地区別世帯数及び人口	15	41. 教育委員	29
15. 人口動態	15	42. 教育委員会事務局機構	29
16. 人口動態の推移	16	43. 学校別児童生徒数	29
17. 年令(5歳階級)別人口	17	44. 中学校卒業者状況	30
18. 産業分類別・従業上の地位別就業者	18	45. 学校(教職員・生徒児童数)	30
19. 人口集中地区〔D I D〕	18	46. 高等学校卒業者状況	30
20. 通勤・通学別流出口口〔15歳以上〕	19	47. 幼稚園の幼児数・教職員数等	31
21. 通勤・通学別流入人口〔15歳以上〕	19	48. 幼稚園年令別幼児数	31
22. 昼間人口	19	49. 公 民 館	31
★行 政	20	50. 市立図書館	31
23. 歴代市長	20	51. 勝山市の文化財	32
24. 歴代助役	20	52. 勝山市内で発掘された恐竜の体化石	34
		53. 勝山市の文化財分布図	36
		★農 業	37
		54. 農家戸数と人口	37

55. 農家人口と就業状態	37
56. 家畜飼養農家と家畜、家きん、頭羽数	37
57. 3類1等裸米政府売渡価格の推移	37
58. 年次別産米売渡額	38
59. 専業・兼業農家の推移	38
60. 経営耕地面積	38
61. 経営耕地面積別農家数の推移	38
62. 地区別農産物販売別農家数	39
63. 地区別農用機械所有台数	39
64. 地区別農業の状態	40
65. 作物別収穫(栽培)面積	40
★林業	41
66. 保有山林面積規模別農林家数	41
67. 林野総面積	41
68. 造林伐採面積	41
69. 地区別山林面積	42
70. 林産物	42
★事業所	43
71. 産業分類別事業所数・従業者数の推移 (民営+公営)	43
72. 規模別産業大分類別事業所数及び従業者数	43
73. 市別経営組織別事業所数及び 従業上の地位別従業者数	44
74. 産業別就業人口	46
★工業	48
75. 最近10年の工業の推移	48
76. 産業分類別工業の概況	48
77. 市町村別繊維産業製造品出荷額等	49
78. 繊維産業業種別企業分布状況	50
79. 県内規模別設備状況	52
(A) 広幅織物設備	52
(B) 撚糸設備	52
(C) 仮より設備	54

★商業	55
80. 商業の実態	55
81. 従業者規模別商店数	55
82. 従業者規模別飲食店数	55
83. 県下7市の産業の概況	56
★市民所得	58
84. 勝山市の概況	58
85. 1人当たりの市(県・国)民所得	58
86. 関連指標	58
87. 平成5年度主要項目別分配所得	59
88. 産業別市内純生産	59
★社会	60
89. 生活保護の状況	60
90. 市営住宅	60
91. 年次別共同募金高	60
92. 歳末たすけあい配分状況	61
93. 年次別共同募金高	61
94. 心配ごと相談	61
95. 市社協結婚相談	61
96. 国民年金加入状況	61
97. 国民年金(拠出)受給状況	61
98. 国民年金(福祉)受給状況	62
99. 教育福祉会館の施設	62
100. 教育福祉会館の利用状況	62
101. 市民会館の施設	63
102. 市民会館利用状況	63
103. 保育所の状況	64
104. 児童センターの状況	64
★保健衛生	66
105. 国民健康保険加入状況	66
106. 国民健康保険税収納状況	66
107. 国民健康保険税負担額及び給付費用状況	66
108. 国民健康保険加入者1人当りの医療費と保険税	67
109. 環境衛生施設数	67
110. 医療関係施設	67

111. 成人病検診受診状況	68
112. 医療関係者	68
113. 予防接種の状況	68
114. 死因別死亡者数	69
115. 国民健康保険病類別疾病	69
116. ごみ処理状況	70
117. 資源化物回収状況	70
118. 人口・世帯別ゴミ排出量	70
119. 合併処理浄化槽設備状況	71
★警察・消防	72
120. 刑法犯罪の発生・検挙の状況	72
121. 交通事故	72
122. 月別交通事故発生状況(人身事故)	72
123. 運転車年令別交通事故 発生状況(人身事故)	73
124. 消防機構	73
125. 消防職員の現勢及び配置	73
126. 無線通信施設(超短波)	74
127. 消防団員の現況及び配置	74
128. 救急救助用器具保有数	74
129. 消防車両等の保有数	75
130. 消防水利現況	75
131. 火災件数	75
132. 救急出動件数	75
★生活環境	76
133. 交通災害共済年度別状況	76
134. 交通安全施設の状況	76
135. 公害発生施設届出状況	77
★建設	79
136. 道路の状況	79
137. 国道整備状況	79
138. 主要地方道整備状況	79
139. 一般県道整備状況	80
140. 市道整備状況	80
141. 橋梁の状況	81

142. 普通世帯住居の種類・住宅の 所有関係別住居の状況	81
★都市計画	82
143. 都市計画用途地域	82
144. 防火地域	82
145. 都市計画道路	82
146. 都市公園	83
147. 土地区画整理事業	83
★上水道	84
148. 水道普及状況	84
149. 水道給水状況	84
★下水道	85
150. 下水道計画概要	85
151. 下水道整備普及状況	85
152. 浄化センター施設の概要	86
★労働	87
153. 一般職業紹介状況	87
154. 雇用保険給付状況	87
★運輸・通信	88
155. 自動車保有台数	88
156. 郵便局及びその他の施設	88
157. 年賀郵便物取扱状況	88
158. 郵便物取扱状況	88
★特産物	89
159. 勝山市の主な特産物	89
★観光	90
160. 私鉄主要駅乗降客状況	90
161. 観光客入込と消費額状況	90
162. 観光地月別入込状況調査	92
163. 観光地入込観光客調査	92
164. 東山いこいの森利用状況	94

165. 雁が原青少年旅行村利用状況	94
166. 海洋センター利用状況	95
167. 勤労青少年体育センター利用状況	95
168. 林業者トレーニングセンター利用状況	95
169. 市営体育館利用状況	95
170. 勤労婦人センター利用状況	96
171. 勝山温泉センター“水芭蕉”利用状況	96
172. 市内観光案内図	98
★その他	100
主な官公舎・機関等	100
勝山市行政機構図	103

1. 市制施行及び市章の説明

市制施行……昭和29年9月1日

勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村の1町8カ村が合併。

市章の説明

カ ツ 山をもって勝山を意味する。

福井、大野、金沢の三方面への発展を三角の各頂点であらわし、丸は和合、三角はどっしりとした安定性を意味し、三角と丸を組み合わせることで勝山市としての将来の発展を意味する。

1. 市制施行及び市章の説明

市制施行……昭和29年9月1日

勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村の1町8カ村が合併。

市章の説明



福井、大野、金沢の三方面への発展を三角の各頂点であらわし、丸は和合、三角はどっしりとした安定性を意味し、三角と丸を組み合わせて勝山市としての将来の発展を意味する。

自然

2. 地 勢

勝山市は、福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約28kmの地点にあり、東南は大野市、西南、南は吉田、坂井、足羽の三郡に、北は石川県に隣接し、市の周辺は大小の山々に囲まれ、その中心部を東南より西北にかけて県下最大河川である九頭竜川の中流に位置し、その流域は勝山盆地を形成しており、市の中心地は商工業の発達した地域となり、繊維工業と農業を基幹産業とする水とみどりの豊かな田園都市である。

3. 位 置

東 経	北 緯	標 高		面 積	長 さ	
		最 高	最 低		東 西	南 北
136°23'34"	36°0'13"	1,671 ^m	75 ^m	253.68 ^{km²}	23.3 ^{km}	17.0 ^{km}
136°39'44"	36°9'17"					

4. 土 地 (地目別面積)

各年1月1日現在 (単位: km²)

区 分	合 計	田	畑	宅 地	山 林	原 野	牧場その他
4 年	116.15	20.37	1.96	4.94	83.56	3.54	1.78
5 年	116.24	20.27	1.95	5.06	83.72	3.51	1.73
6 年	116.30	20.24	1.93	5.16	83.76	3.41	1.80
7 年	116.05	20.29	1.90	5.24	83.44	3.30	1.88
8 年	115.87	19.90	1.59	5.44	83.79	3.21	1.94

資料: 税務課調 (課税分のみ)

5. 沿 革

本市には、古く縄文時代から九頭竜川の両河岸段丘に人が住んでいたことが、点在する遺跡によって明らかである。

奈良時代、泰澄により白山中宮平泉寺が開かれたと伝えられ、白山信仰の一大拠点として全盛時は48社36堂6千坊を誇り、寺を中心に座（同業組合）がつくられ商工業が繁栄し、また、文化も大いに高まり、越前文化の中心的存在として栄えたが、一向宗徒の一揆により一夜にしてその栄華を失った。

その後、柴田氏が一揆を鎮め、城を築きこれを統治した。一揆の勝利へ導いた御立山（通称村岡山）を“勝ち山”と呼んだことから、勝山の地名が起こったといわれ、防備都市としての役割をもつ城下町が形成された。

江戸時代、小笠原氏が入封、明治に至るまで藩政が続いた。廃藩置県後機業がぼっ興し、羽二重を中心とする絹織物の製造が盛んになり、さらに昭和初期には人絹織物の導入によって織物立国を形成した。戦後は、設備の近代化、技術革新により高級合繊織物の一大産地として国内外に知られている。

一方、行政の組織は明治の市制町村制により、現市域内に、1町9カ村が誕生、その後猪野瀬村が勝山町に編入合併され、昭和29年9月1日町村合併法により、勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村の1町8カ村が合併し市制を施行、人口39,043人の勝山市が発足した。

以後、行政の充実、市民の努力によって順調に近代都市化が進展してきているものの、人口は高度経済成長による大都市集中化により次第に減少し、平成7年の国勢調査人口は29,163人となっている。

6. 産 業

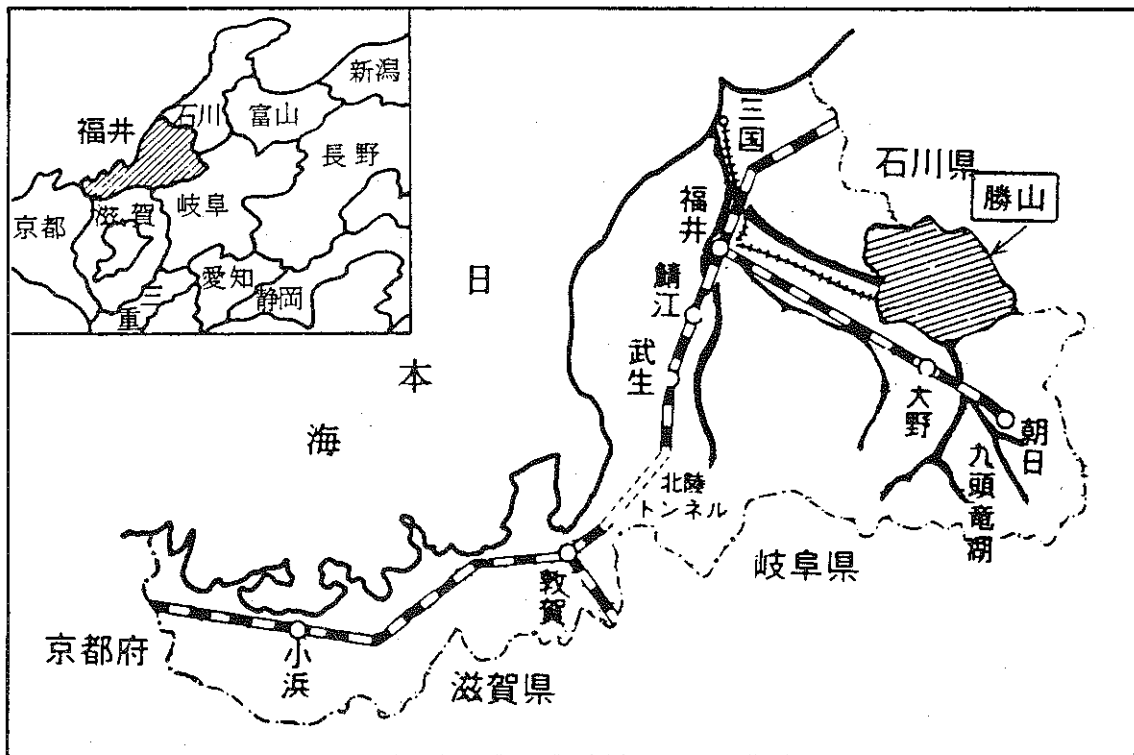
本市の主要産業である織物製造業は、いくたびかの不況に見舞われたにもかかわらず、勝山市民特有のねばり強さと勤勉によって試練を乗り越えた。新製品や高付加価値商品の開発を図るなかで、時代に対応した生産体制の整備を進め、織物産地として今日に至っている。

農業については、土地改良、ほ場整備事業、農村総合整備モデル事業などの推進により、営農基盤の強化改善が図られ、良質米の生産や里いも、いちご、葉たばこ、スイートコーン、勝山水菜等が特産品として出荷されている。

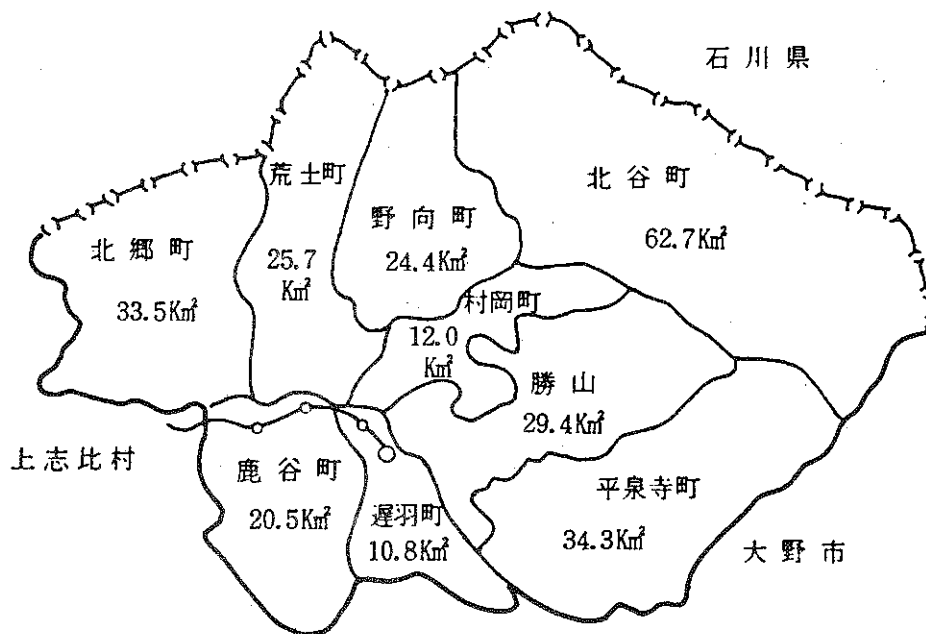
観光面では、1300年の歴史を秘めた平泉寺や千古に輝く越前大仏等有名な観光地があり、全国から多くの観光客が訪れている。又、西日本最大級のスキー場も平成5年にオープンし、さらにゴルフ場・ホテル・ペンションなどの宿泊施設の建設も予定しており、リゾートを核とした観光都市を目指している。

この他、近年の積極的な企業誘致により機械工場、自動車部品工場、弱電工場、縫製工場等が進出し、市内の雇用も拡大され、活力と魅力あふれる都市づくりをめざして着々と進展してきている。

位 置



7. 面 積 (253.68km²)



歴史

8. 勝山市の歴史

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
紀元前1万年前	旧石器～縄文時代	日本では土を焼いて器を作り始めた頃で、平泉寺町赤尾地区の池から発見された槍先形尖頭器は、動物を捕獲するための槍の先に付けられた石器である 勝山市内最古の加工品
紀元前5000年頃	縄文時代早期	滝波地区破入・壁倉地区幕根・嶗崎地区三室・暮見地区古宮などの各遺跡が形成される
紀元前2500年頃	縄文時代中期	三室遺跡や滝波遺跡付近に縄文集落が形成される
紀元前1500年頃	縄文時代後期	鹿谷町本郷遺跡や北郷町上野遺跡が形成される
紀元前 500年頃	縄文時代晩期	猪野口地区大島田遺跡や北郷町志比原遺跡が形成される
紀元前 100年頃	弥生時代	鹿谷町発坂や北郷町森川周辺の段丘上に弥生集落が形成される
300～500年頃	古墳時代	荒土町別所や平泉寺町大渡、鹿谷町発坂、西光寺など集落を見下ろす山の尾根上に有力な人々の古墳がつけられる
717	養老元年	泰澄大師が平泉寺を開いたと伝えられる
930年頃	承平年間	古文書に猪野毛屋付近をさすと思われる「毛屋郷」の名が現れる
1084	応徳元年	平泉寺、比叡山延暦寺末となり、勢力を拡大する
1339	延元 4 年	新田義貞の家臣、畑時能は伊知地の鷲ヶ岳城にて戦死する
1448	嘉永元年	長山鉄砲場に講部台を築き始める
1524	大永 4 年	平泉寺祭礼に際し流鏝馬の神事がおこなわれる
1539	天文 8 年	平泉寺賢聖院、約500石の領地を朝倉氏より認められる
1574	天正 2 年	平泉寺、一向一揆により全山焼失する
1580	大正 8 年	柴田勝安は村岡山より袋田村に移り、現在の市民会館の地に勝山城を建設する
1583	同 11年	太閤検地始まる
1601	慶長 6 年	福井藩領となり、家臣林長門が勝山城代となる
1615	元和元年	勝山城は廃止される（一国一城令による）
1624	寛永元年	秀康の4男松平直基が三万石を領し勝山藩主となる
1635	同 12年	秀康の5男松平直良が勝山藩三万五千石を治める
1644	正保元年	福井藩預かり地となり、代官が治める
1686	貞享 3 年	福井藩減封で、幕府直轄領となる
1691	元禄 4 年	勝山藩主（2万2,777石）として小笠原貞信、美濃高須より移封
1702	同 15年	九頭竜川氾濫して堤防決壊、田畑家屋流出し長淵は一面川原となる
1706	宝永 3 年	九頭流川堤防復旧工事完成（松原新道、今の栄町あたり）
1708	同 5 年	二代信辰、勝山城主を命じられる
1709	同 6 年	幕府より築城の奉書が出され、築城に取り掛かるが本丸のみ完成
1721	享保 6 年	再び九頭竜川氾濫
1726	同 11年	女神川氾濫、猪野口村全滅（58戸中の48戸流出、死者82人）
1746	享保 3 年	城下に大火発生、郡町から出火、袋田町・後町・武家屋敷に延焼、全町630戸のうち458戸焼失

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1771	明和 8 年	五代信房築城を再開、二ノ丸土居・堀を築き、ここに居館を移す
1771	同 8 年	財政建て直しのため税制の改正を始めたので、領内に百姓一揆が起こり、これを中止する。
1781	安永10年	城下に大火発生、民家582軒、武家89軒焼失
1782	天明 2 年	町火消しが組織される（袋田町・後町・郡町火消組 3 部）
1783	同 3 年	当時戸数2,868戸、人口11,561人
1793	寛政 5 年	6 代長教、二ノ丸櫓台、三ノ丸土居と堀を築く
1799	同 11年	城下に大火発生、郡町の大半128軒、後町の大半155軒、尊光寺など11ヶ寺焼失
1822	文政 5 年	勝山城本丸より出火、門・土蔵・高塀を残して全焼
1823	同 6 年	勝山城は町・郷からの見舞金で復興、瓦と桧皮葺の御殿ができる
1826	同 9 年	七代長貴築城再開、北側の塀を掘り、東の土居、櫓台を築く
1833	天保 4 年	天保 2 年に続く大凶作に見舞われる
1836	同 7 年	大飢饉 2 年続き、城下に打ち壊し、貧民・死者が続出した
1841	同 12年	泰魯斎の進言と家老林毛川の努力により、読書堂（翌々年成器堂）が建てられる
1869	明治 2 年	小笠原長守 勝山藩知事に任命される
1871	明治 4 年	勝山県を廃し福井県となる 福井県を廃し足羽県となる
1872	明治 5 年	勝山郵便役所創立 学制発布により成器小学校をはじめ21の小学校創設、区制改正全町村17大区になる
1873	明治 6 年	足羽県廃し、越前・若狭を合わせて敦賀県となる。
1876	明治 9 年	敦賀県を廃し石川県26大区に所属される 勝山製糸(工場)創業される
1878	明治11年	大小区を廃し郡に郡長、町村に戸長が置かれる
1881	明治14年	石川、滋賀の 2 県より若越11郡を分離して福井県となる 大野警察署勝山分署ができる
1888	明治21年	製糸業大いに興り、製品を海外に輸出する
1889	明治22年	町村制実施され勝山町、猪野瀬村、平泉寺村、村岡村、野向村、北谷村、遅羽村、荒土村、北郷村、鹿谷村（1町9カ村）となる
1896	明治29年	勝山大火（罹災戸数1,200余戸）
1897	明治30年	勝山葉タバコ専売所開設する
1902	明治35年	勝山～小舟渡間、勝山～大野間に乗合馬車開通する
1911	明治44年	勝山町電話開通する 県営産米調査開始
1914	大正 3 年	福井～勝山～大野間電車開通する（越前電気鉄道(株)創設）
1915	大正 4 年	勝山橋架橋
1920	大正 9 年	第 1 回国勢調査
1931	昭和 6 年	猪野瀬村を勝山町に編入
1932	昭和 7 年	人絹織物業が盛んとなり、工場数69、工員3,000人、生産額1,300万円に達する
1941	昭和17年	私立勝山精華女学校設立
1947	昭和22年	公職選挙法施行により公選町長となる（初代 山内 譲）
1948	昭和23年	勝山高等学校開校

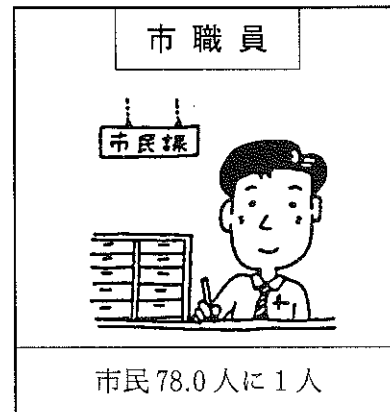
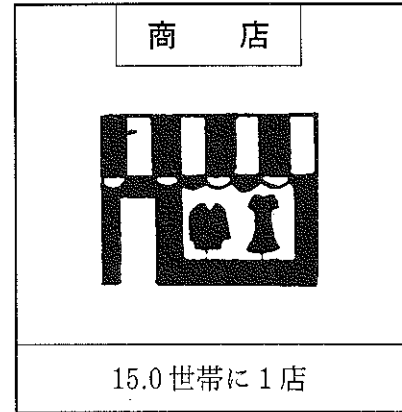
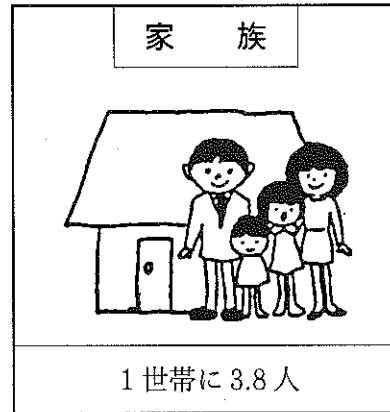
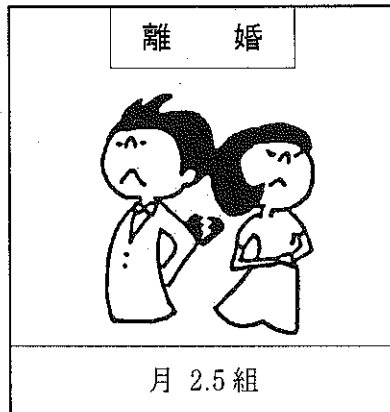
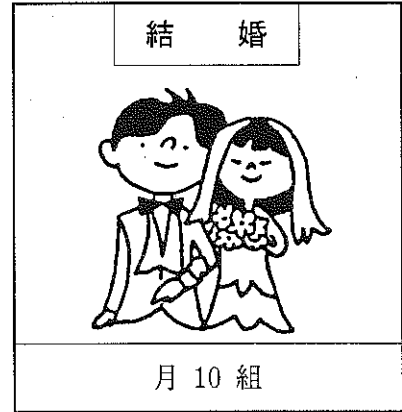
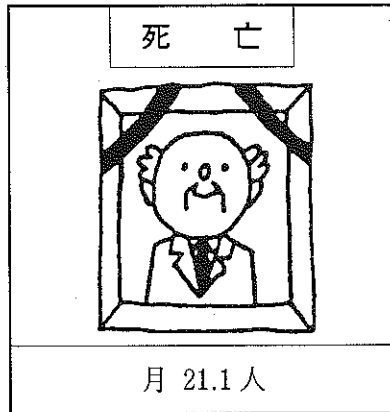
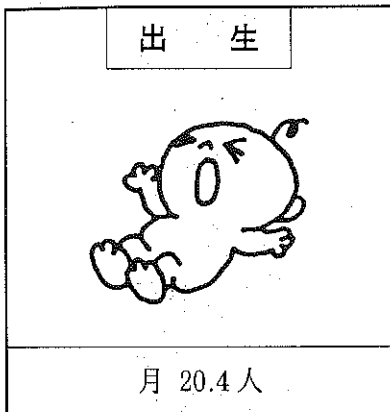
西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1949	昭和24年	勝山商工会創立
1950	昭和25年	勝山中学校及び成器南小学校新築落成
1954	昭和29年	1町8カ村合併し勝山市発足する(初代市長 山内継喜)
1956	昭和31年	雁が原スキー場開設 財政再建団体の指定うく
1957	昭和32年	勝山北部中学校開校する 原山スキー場開設
1958	昭和33年	新市庁舎落成
1959	昭和34年	伊勢湾台風猛威ふるう 損害5億円
1961	昭和36年	市消防本部、市消防署設置 第2室戸台風による被害2億円
1962	昭和37年	白山国定公園が国立公園に昇格 市有林100本植樹完了 電話自動化
1963	昭和38年	100年来の豪雪におそわれる 被害10億円 勝山橋かけかえ工事完成 勝山病院完成 市上水道建設事業竣工 農業構造改善事業計画地域としての指定及び低開発地域工業開発地区の 指定を受ける 大選挙区制決議
1964	昭和39年	勝山新大用水完成 市制10周年記念行事実施 勝山都市計画正式に決まる
1965	昭和40年	市農協誕生 市農業センター完成 緊急道路整備3カ年計画に着手 40.9 三大風水害当市をおそう 被害総額18億円
1966	昭和41年	交通安全都市宣言及び青少年愛護都市宣言 福井～勝山線県道舗装完成 新住居表示実施
1967	昭和42年	勝山中部中学校普通校舎完成 市民会館落成
1968	昭和43年	第23回国民体育大会 勝山市で4種目開催 財政再建団体の指定をうく
1969	昭和44年	市荒川大橋完成
1970	昭和45年	下荒井橋完成
1971	昭和46年	雇用促進住宅、勤労者体育センター、老人センター完成 大野・勝山地区広域市町村計画決まる
1972	昭和47年	国道157号線新谷トンネル開通
1973	昭和48年	勝山市総合振興計画決まる
1974	昭和49年	勝山南部中学校開校(中学校統合計画完了) 京福電鉄越前本線勝山～大野間廃線 市制20周年記念行事
1975	昭和50年	成器西小学校が旧勝山中跡へ移転 財政再建計画5年短縮して完了 勝山市名誉市民条例制定
1976	昭和51年	教育福祉会館落成 名誉市民第1号多田清氏誕生 多田育英基金設立 中央公園完成 市公共下水道事業着手
1977	昭和52年	農村整備事業着手 市農協カントリーエレベーター完成(伊波)
1978	昭和53年	市庭球場完成 市弓道場完成 勝山・上志比衛生センター完成
1979	昭和54年	長山公園グラウンド夜間照明施設完成 北児童センター完成 一般国道157号(勝山国道)開通
1980	昭和55年	東山いこいの森完成

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1981	昭和56年	市農協カントリーエレベーター完成（岡横江） 56豪雪におそわれる 国道416号昇格決まる 勝山市新総合振興基本構想の策定 浄化センターの着工 消防本部、消防署発足20周年記念行事 東縦貫線長山トンネル着工 商工会議所創立30周年記念行事 南児童センター完成
1982	昭和57年	2市1村の連携による奥越青少年愛護センターを設置 越前大仏起工式 勝山北部中学校校舎改築 遅羽農村環境改善センター落成 西児童センター完成 遅羽農村環境改善センター完成
1982	昭和57年	村岡小学校校舎増改築 勤労婦人センター完成
1983	昭和58年	勝山海洋センター完成 林業者健康トレーニングセンター完成 勝山浄化センター定礎式 クリーンセンター起工式
1984	昭和59年	市営住宅本町団地完成 南保育所完成 野向小学校校舎完成 長山トンネル開通 雁が原青少年旅行村開設 越前大仏門・中門・回廊起工式 市制30周年記念 奥越地域地場産業振興センター起工式 大野・勝山広域農道起工式 国道416号バイパス伊波～滝波間開通 成器西小学校大規模修繕
1985	昭和60年	克雪センター完成 勝山浄化センター通水式 荒土小学校校舎完成 奥越地域地場産業振興センター竣工式 クリーンセンター火入れ式 奥越花卉集出荷場竣工式
1986	昭和61年	温泉ボーリング調査起工式（村岡町浄土寺地係） 全市ごみ収集開始 農業共済事業奥越で広域化 国道157号谷トンネル付近で土石流発生

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1987	昭和62年	北郷児童センター落成 国が選ぶ水辺環境100選に「弁天緑地」 日本の道100選に「中宮平泉寺参道」 林道河合線完成 克雪センター除雪機械格納庫完成 特別養護老人ホーム「さくら荘」落成 越前大仏開眼、落慶法要 勝山市日中友好協会設立
1987	昭和62年	村岡小学校第2体育館落成
1988	昭和63年	勝山北部中学校体育館落成 さくら荘デイサービスセンター落成 鹿谷児童センター落成 市農協会館新館落成
1989	平成元年	北谷町で1億2千万年前の肉食恐竜の化石発見 広域基幹林道「法恩寺線」全線開通 勝山商工会館新築落成 勝山南高校開校式 ㈱シルバー人材センター発足 一般廃棄物（不燃物）最終処分場「グリーンヒル上野」完成 「平泉寺坊院跡」発掘調査開始
1990	平成2年	第3次勝山市総合振興計画基本構想の策定 ニューメディアコミュニティパソコン実験ネット開局 勝山温泉センター“水芭蕉”落成 市農協カントリーエレベーター増設（伊波）
1991	平成3年	消防庁舎落成 勝山市立図書館落成 野向小学校屋内運動場改築 荒土小学校プール改築
1992	平成4年	勝山温泉センターふれあい会館落成 白山国立公園昇格30周年 ふるさと森林館 法恩寺山・芳野原リゾート開発本格着工 蓬生坂トンネル開通 越前勝山城博物館落成 法恩寺有料道路開通
1993	平成5年	デイサービスセンター“九頭竜”落成 平泉寺保育所新築 勝山南大橋開通 老人保健施設「鷺巣苑」落成 成器南小学校屋内運動場改築

西 曆	年 号	主 な 出 来 事
1994	平成 6 年	市制40周年記念事業 <ul style="list-style-type: none"> ・記念式典 ・市民人文字、NHK巡回ラジオ体操 ・「みんなの記念樹」植樹式 ・NHKのど自慢 など 米国アスペン市と友好都市提携調印 恐竜文化賞を創設、全国から児童文学作品などを募集 暴力追放市民総決起大会 「ゆとり創造宣言都市」に指定される チャマゴン号など恐竜電車で利用促進運動
1995	平成 7 年	市営南大橋住宅が完成 まちづくり景観条例を制定 勝山病院移転で、社会保険庁と市公社で売買契約 阪神・淡路大震災被災地に救援物資を輸送 印鑑登録オンライン化

市民生活



医 師



市民 571.8 人に 1 人

救急車出動



月 41.8 件

自家用自動車



1 世帯に 2.3 台

交通事故



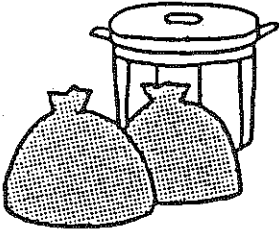
月 12.2 件

火 災



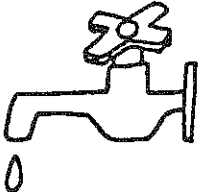
33 日に 1 件

ゴミの収集量




1 世帯 1 日当り 2.3 kg

上 水 道



1 人 1 日当りの使用量
0.26 m³

下 水 道



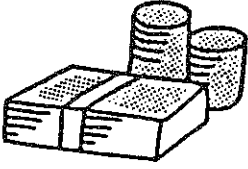
普及率 61.6%

市 税



市民 1 人当り 143,267 円

市の予算



市民 1 人当り 715,268 円

気 象

9. 気象の概況

平成7年

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	
気 平 均	日平均℃	0.4	0.9	4.9	11.2	15.7	18.4	23.8	25.9	19.5	15.6	7.0	1.6	12.1	
	日最高℃	2.9	4.4	9.3	15.8	20.2	21.9	27.3	30.9	24.0	20.7	11.8	4.9	16.2	
	日最低℃	-1.7	-2.1	1.0	6.3	11.1	15.1	20.8	21.7	15.5	11.1	2.9	-0.8	8.4	
温 極	最高℃	11.0	8.8	17.0	22.9	27.9	29.9	33.5	34.6	28.7	26.2	20.4	9.7	34.6	
	起 日	9	28	24	23	19	30	29	20	2	14	7	14	8/20	
	最低℃	-6.5	-5.7	-4.1	-1.8	6.6	9.6	17.8	16.0	9.4	5.0	-0.3	-8.0	-8.0	
日 数	最高 ≥ 25	0	0	0	0	2	5	21	30	10	3	0	0	71	
	最低 < 0	27	24	14	3	0	0	0	0	0	0	4	20	92	
降 水 量	合 計 mm	357	127	160	187	258	122	675	157	125	90	303	246	2,807	
	最大 日量 mm	38	21	26	38	55	43	106	99	28	30	41	38	106	
	最大 起 日	12	5	11	19	12	14	14	31	3	24	8	5	7/14	
	日 数	≥ 1 mm	24	16	19	20	17	13	19	6	12	8	16	20	190
		≥ 10 mm	15	5	8	7	8	4	13	3	4	3	12	9	91
≥ 30 mm		3	0	0	1	1	1	7	1	0	1	3	1	19	
風	最大風速 m/s	8	8	13	11	10	12	9	6	12	8	9	9	13	
	同上 風向	WNW	NNW	SE	SE	SSE	SSE	SE	WNW	NNW	SE	NW	NNW	SE	
	同上 起 日	29	18	16	22	29	3	1	16	17	29	8	25	3/16	
日 照 時 間 h	69.4	116.3	114.9	124.5	126.6	48.2	96.3	195.3	114.7	171.6	98.8	82.2	1358.8		
不 照 日 数	11	0	6	4	14	15	16	1	6	6	5	5	89		
雪	最深積雪 cm	76	88	40	2	-	-	-	-	-	-	3	40	88	
	同上 起 日	31	7	5	3	-	-	-	-	-	-	25	27	2/7	
	積雪日数	31	28	11	1	-	-	-	-	-	-	1	18	90	
	降雪の深さ合計 cm	220	72	24	2	-	-	-	-	-	-	3	83	404	
	降雪の深さ最大値 cm	32	20	20	2	-	-	-	-	-	-	3	25	32	

資料：福井地方気象台

- (注) 1. 気温は毎正時の値、降雪量の深さは午前9時。
 2. 風向は16方位で、Nは北、Sは南、Eは東、Wは西。
 3. ※は同一の極値が複数あることを表し、日付は新しい日を表示。
 ×は欠測、)は平均値及び合計値に欠測が含むことを表す。
 4. 地域気象観測システム (AMeDAS) による観測の結果を記載したものです。

10. 過去の気象最高（低）記録

区 分	記 録	記 録 年 月 日	備 考 (期間)
最 高 気 温 (極)	37.8℃	昭和35年8月2日	大正元年～平成7年
最 低 気 温 (極)	-14.7℃	大正2年2月12日	大正元年～平成7年
日 最 大 降 水 量	232mm	昭和40年9月14日	明治32年～平成7年
最 深 積 雪	325cm	昭和38年1月31日	大正2年～平成7年
日 最 大 降 雪 深	100cm	昭和55年12月28日	大正2年～平成7年
日 最 大 風 速	16 m/s南南東	平成3年9月27日	昭和53年～平成7年

資料：福井地方気象台

11. 寒候期年別最深積雪

(単位：cm)

区 分	積 雪	起 日	区 分	積 雪	起 日
昭和51年	120	1月24日	61年	158	1月12日
52年	×	×	62年	97	3月1日
53年	110	2月4日	63年	76	2月10日
54年	55	1月16日	平成元年	57	12月17日
55年	165	2月17日	2年	80	1月26日
56年	270	1月15日	3年	128	2月24日
57年	51	2月10日	4年	45	1月24日
58年	140	2月21日	5年	54	2月2日
59年	165	2月10日	6年	69	1月24日
60年	142	12月31日	7年	88	2月7日

(注) 1. ×は、欠測を表わしています。

2. 寒候期とは前年11月から翌年4月までです。

資料：福井地方気象台

12. 月別平均気温・降水量の準平年値

(単位：℃・mm)

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
平 均 気 温	0.4	0.9	4.9	11.2	15.7	18.4	23.8	25.9	19.5	15.6	7.0	1.6	12.1
最 高 気 温 平 均	2.9	4.4	9.3	15.8	20.2	21.9	27.3	30.9	24.0	20.7	11.8	4.9	16.2
最 低 気 温 平 均	-1.7	-2.1	1.0	6.3	11.1	15.1	20.8	21.7	15.5	11.1	2.9	-0.8	8.4
降 水 量	274.4	210.9	162.6	149.4	173.8	213.4	330.2	136.8	232.3	159.7	213.2	279.7	2555.6

資料：福井地方気象台

- (注) 1. 平均気温は毎正時の24回平均。
 2. 最高気温・最低気温は毎正時の値。
 3. 統計期間は昭和51年から平成7年。

世帯と人口

13. 世帯数と人口

各年10月1日現在 (単位：人・戸・%)

区 分	世帯数	人 口				1世帯 当り人口	人口密度 (km ²)
		総 数	男	女	女百人に 対する男		
大 正 9 年 〔第1回国勢調査〕	5,862	28,852	13,923	14,929	93.3	4.9	113.7
14 年 〔第2回国勢調査〕	5,777	28,381	13,909	14,472	96.1	4.9	111.9
昭 和 5 年 〔第3回国勢調査〕	—	29,092	14,284	14,808	96.5	—	114.7
10 年 〔第4回国勢調査〕	—	31,945	15,658	16,287	96.1	—	125.9
15 年 〔第5回国勢調査〕	6,333	31,404	15,341	16,063	95.5	5.0	123.8
22 年 〔第6回国勢調査〕	—	37,485	17,622	19,863	88.7	—	147.8
25 年 〔第7回国勢調査〕	7,598	38,962	18,502	20,460	90.4	5.1	153.6
30 年 〔第8回国勢調査〕	7,452	37,556	17,727	19,829	89.4	5.0	148.0
35 年 〔第9回国勢調査〕	7,584	36,531	16,989	19,542	86.9	4.8	144.0
40 年 〔第10回国勢調査〕	7,473	34,828	16,248	18,580	87.4	4.7	137.3
45 年 〔第11回国勢調査〕	7,532	32,691	15,417	17,274	89.2	4.3	128.9
50 年 〔第12回国勢調査〕	7,652	31,025	14,929	16,096	92.7	4.1	122.3
55 年 〔第13回国勢調査〕	7,731	30,852	14,962	15,890	94.2	4.0	121.6
60 年 〔第14回国勢調査〕	7,718	30,416	14,715	15,701	93.7	3.9	119.9
平 成 2 年 〔第15回国勢調査〕	7,701	29,805	14,400	15,405	93.5	3.9	117.5
7 年 〔第16回国勢調査〕	7,733	29,162	14,033	15,129	92.8	3.8	115.0

資料：国勢調査・市民課

14. 地区別世帯数及び人口

平成7年10月1日現在 (単位：人・戸)

区 分	世帯数	人 口			1世帯当り 人 口
		総 数	男	女	
総 数	7,733	29,162	14,033	15,129	3.8
勝 山	3,556	12,069	5,777	6,292	3.4
猪 野 瀬	380	1,504	717	787	4.0
平 泉 寺	320	1,546	771	775	4.8
村 岡	1,267	4,773	2,312	2,461	3.8
北 谷	96	312	133	179	3.3
野 向	242	1,104	519	585	4.6
荒 土	522	2,325	1,112	1,213	4.5
北 郷	525	2,253	1,078	1,175	4.3
鹿 谷	586	2,286	1,129	1,157	3.9
遅 羽	239	990	485	505	4.1

資料：国勢調査

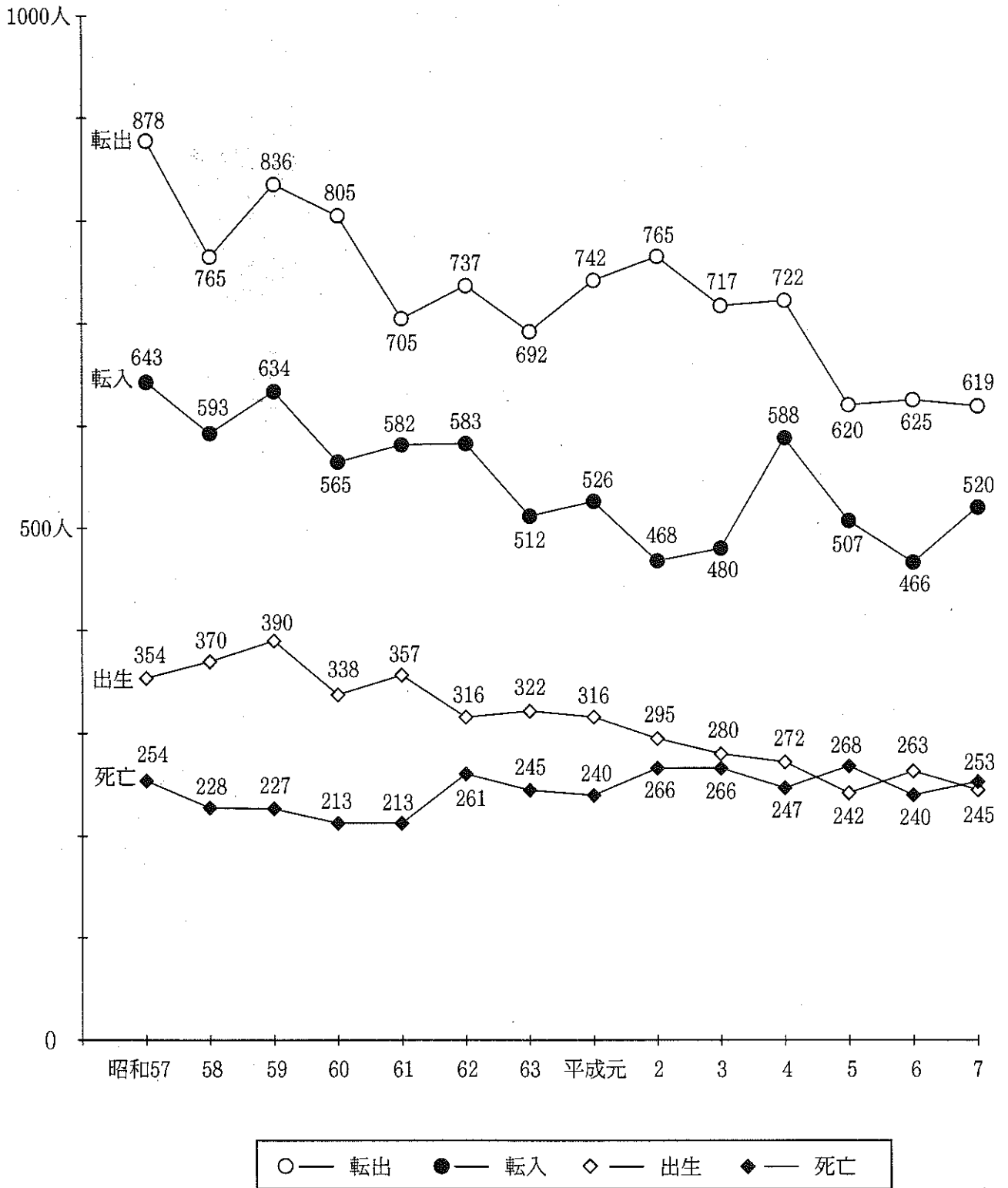
15. 人口動態 (過去10ヵ年)

(単位：人)

区 分	自 然 動 態			社 会 動 態			自然動態 と社会動 態の増減	婚 姻	離 婚
	出 生	死 亡	増 減	転 入	転 出	増 減			
昭和61年度	357	213	144	582	705	△123	21	156	26
62年度	316	261	55	583	737	△154	△99	152	18
63年度	322	245	77	512	692	△180	△103	139	11
平成元年度	316	240	76	526	742	△216	△140	153	22
2年度	295	266	29	468	765	△297	△268	126	16
3年度	280	266	14	480	717	△237	△223	128	23
4年度	272	247	25	588	722	△134	△109	122	29
5年度	242	268	△26	507	620	△113	△139	139	20
6年度	263	240	23	466	625	△159	△136	125	18
7年度	245	253	△8	520	619	△99	△107	120	30

資料：市民課

16. 人口動態の推移



17. 年令別（5歳階級）人口

各年10月1日現在（単位：人）

区 分	昭 和 60 年			平 成 2 年			平 成 7 年		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	30,416	14,715	15,701	29,805	14,400	15,405	29,162	14,033	15,129
0～4才	1,851	956	895	1,615	832	783	1,316	715	601
5～9	2,116	1,074	1,042	1,874	969	905	1,673	868	805
10～14	2,424	1,260	1,164	2,107	1,071	1,036	1,852	968	884
15～19	1,744	871	873	1,990	1,048	942	1,768	886	882
20～24	1,447	671	776	1,215	532	683	1,507	741	766
25～29	1,743	888	855	1,513	740	773	1,350	620	730
30～34	2,224	1,134	1,090	1,738	862	876	1,486	716	770
35～39	2,372	1,255	1,117	2,199	1,115	1,084	1,743	853	890
40～44	1,821	909	912	2,332	1,223	1,109	2,184	1,105	1,079
45～49	1,898	904	994	1,816	911	905	2,318	1,223	1,095
50～54	2,235	1,076	1,159	1,860	883	977	1,789	897	892
55～59	2,380	1,156	1,224	2,168	1,045	1,123	1,803	845	958
60～64	1,843	774	1,069	2,292	1,092	1,200	2,068	983	1,085
65～69	1,443	625	818	1,755	734	1,021	2,188	1,027	1,161
70～74	1,234	508	726	1,291	547	744	1,628	655	973
75～79	892	384	508	1,041	409	632	1,156	468	688
80～84	483	182	301	632	259	373	818	286	532
85～89	203	71	132	258	91	167	378	133	245
90才以上	63	17	46	109	37	72	137	44	93

資料：国勢調査

18. 産業分類別・従業上の地位別就業者

各年10月1日現在(単位:人)

区 分	昭和60年	平 成 2 年					
		総 数	雇用者	役 員	雇 人 の ある業主	雇 人 の ない業主	家 族 者 従 業 者
総 数	16,992	16,417	11,201	584	442	2,231	1,959
第 1 次 産 業	2,342	1,849	59	3	10	971	806
農 業	2,283	1,809	26	2	10	966	805
林業・狩猟業	57	39	32	1	—	5	1
漁 業	2	1	1	—	—	—	—
第 2 次 産 業	8,059	7,596	5,960	352	223	548	513
鉱 業	35	21	15	2	1	1	2
建 設 業	1,871	1,800	1,332	112	114	144	98
製 造 業	6,153	5,775	4,613	238	108	403	413
第 3 次 産 業	6,586	6,969	5,180	229	209	712	639
卸売・小売業	2,492	2,454	1,304	130	124	421	475
金融・保険業	290	319	304	5	1	7	2
不 動 産 業	14	21	14	6	—	1	—
運 輸 ・ 通 信 業	708	658	613	18	3	19	5
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	114	91	91	—	—	—	—
サ ー ビ ス 業	2,556	2,992	2,420	70	81	264	157
公 務	412	434	434	—	—	—	—
分類不能の産業	5	3	2	—	—	—	1

資料: 国勢調査

19. 人口集中地区【D I D】

各年10月1日現在(単位:人・km²)

区 分	人 口	面 積	人口密度(1 km ² あたり)
昭 和 50 年	13,337	2.5	5,335
55 年	12,820	2.4	5,342
60 年	12,326	2.6	4,741
平 成 2 年	12,793	2.9	4,411
7 年	12,381	2.8	4,360

資料: 国勢調査

20. 通勤・通学別流出口【15歳以上】

平成2年10月1日現在(単位:人)

区 分	勝山市から他市町村へ		
	総 数	就 業 者	通 学
〔A〕 県内他市町村への通勤・通学者	3,581	3,287	294
福 井 市	2,066	1,896	170
春 江 町	41	41	—
三 国 町	27	27	—
大 野 市	884	766	118
鯖 江 市	39	39	—
松 岡 町	107	104	3
永 平 寺 町	90	90	—
上 志 比 村	100	100	—
丸 岡 町	104	104	—
その他の市町村へ	123	120	3
〔B〕 県外への通勤・通学者	122	112	10
石 川 県 へ	110	100	10
その他の都道府県へ	12	12	—
合 計〔A+B〕	3,703	3,399	304

資料: 国勢調査

21. 通勤・通学別流入人口【15歳以上】

平成2年10月1日現在(単位:人)

区 分	他市町村から勝山市へ		
	総 数	就 業 者	通 学
〔A〕 県内他市町村より通勤・通学者	1,642	1,398	244
福 井 市	215	209	6
丸 岡 町	37	37	—
大 野 市	976	856	120
松 岡 町	40	36	4
永 平 寺 町	107	46	61
上 志 比 村	165	114	51
その他の市町村より	102	100	2
〔B〕 県外通勤・通学者	29	29	—
合 計〔A+B〕	1,671	1,427	244

資料: 国勢調査

22. 昼間人口

各年10月1日現在(単位:人)

区 分	常住人口	流 入 人 口			流 出 人 口			昼間人口
		総 数	就業者	通学者	総 数	就業者	通学者	
昭和45年	32,691	815	640	175	2,166	1,733	433	31,340
50年	31,025	944	739	205	2,757	2,259	498	29,212
55年	30,852	1,241	975	266	2,971	2,659	312	29,122
60年	30,416	1,429	1,178	251	3,339	3,077	262	28,506
平成2年	29,805	1,671	1,427	244	3,703	3,399	304	27,773

資料: 国勢調査

行政

23. 歴代市長

区 分	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
1	山 内 継 喜	昭和29. 10. 15	昭和33. 10. 14
2	〃	昭和33. 10. 15	昭和37. 10. 14
3	山 内 譲	昭和37. 10. 15	昭和41. 10. 14
4	〃	昭和41. 10. 15	昭和45. 10. 14
5	高 野 春 三	昭和45. 10. 15	昭和49. 10. 14
6	〃	昭和49. 10. 15	昭和51. 11. 17
7	池 田 勤 也	昭和51. 12. 26	昭和55. 12. 25
8	〃	昭和55. 12. 26	昭和59. 12. 25
9	〃	昭和59. 12. 26	昭和63. 12. 25
10	今 井 三右衛門	昭和63. 12. 26	平成 4. 12. 25
11	〃	平成 4. 12. 26	現 在

資料：秘書広報課

24. 歴代助役

区 分	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
1	光 明 正 道	昭和30. 11. 8	昭和34. 11. 7
2	〃	昭和34. 11. 8	昭和37. 10. 13
3	皿 澤 徳 志	昭和39. 3. 28	昭和43. 3. 27
4	〃	昭和43. 3. 28	昭和47. 3. 27
5	池 田 勤 也	昭和47. 6. 24	昭和51. 6. 23
6	〃	昭和51. 6. 24	昭和51. 12. 16
7	鳥 山 忠 昌	昭和52. 1. 24	昭和56. 1. 23
8	〃	昭和56. 1. 24	昭和60. 1. 23
9	〃	昭和60. 1. 26	平成元. 1. 25
10	山 本 隆 治	平成元. 4. 1	平成 5. 3. 31
11	鳥 田 英 博	平成 6. 4. 1	現 在

資料：秘書広報課

25. 歴代收入役

区 分	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
1	豊 島 和 助	昭和30. 1. 1	昭和33. 12. 31
2	”	昭和34. 1. 1	昭和37. 12. 31
3	梅 田 薫	昭和38. 4. 10	昭和42. 4. 9
4	”	昭和42. 4. 10	昭和46. 4. 9
5	笠 川 馨	昭和46. 4. 10	昭和50. 4. 9
6	”	昭和50. 4. 10	昭和54. 4. 9
7	”	昭和54. 4. 10	昭和58. 4. 9
8	竹 内 仁	昭和58. 10. 1	昭和62. 9. 30
9	”	昭和62. 10. 1	平成 3. 9. 30
10	諏 訪 芳 郎	平成 3. 10. 1	平成 7. 9. 30
11	松 山 保 雄	平成 7. 10. 1	現 在

資料：秘書広報課

26. 市職員数

平成 8 年 4 月 1 日現在 (単位：人)

区 分	職 員 数			一般行政職員		技能労務職員		その他の職員	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女
総 数	374	217	157	164	56	17	38	36	63
市長の事務部局	247	145	102	133	45	12	9	—	48
議会の事務部局	4	3	1	3	1	—	—	—	—
監査委員の事務部局	2	1	1	1	1	—	—	—	—
教育委員会の事務部局	84	32	52	27	8	5	29	—	15
消防長の事務部局	37	36	1	—	1	—	—	36	—

資料：秘書広報課

保母41人、教諭15人、保健婦 4 人、看護婦 3 人、消防36人はその他の職員に含む。

27. 最近の選挙投票状況

区 分	種 別	当日有権者数(人)		
		計	男	女
50. 4. 13	福井県知事・県議会議員選挙	22,163	10,406	11,757
50. 8. 10	勝山市議会議員選挙	22,067	10,378	11,689
51. 12. 5	衆議院議員総選挙	22,368	10,583	11,785
52. 7. 10	参議院議員通常選挙	22,333	10,585	11,748
54. 4. 8	福井県知事・県議会議員選挙	22,461	10,706	11,755
54. 8. 5	勝山市議会議員選挙	22,447	10,732	11,715
54. 10. 7	衆議院議員総選挙	22,546	10,782	11,764
55. 6. 22	衆議院議員総選挙・参議院議員通常選挙	22,610	10,825	11,785
55. 11. 30	勝山市市長選挙	22,506	10,774	11,732
58. 4. 10	福井県知事・県議会議員選挙	22,561	10,784	11,777
58. 6. 26	参議院議員通常選挙	22,655	10,821	11,834
58. 8. 7	勝山市議会議員選挙	22,561	10,780	11,781
58. 12. 18	衆議院議員総選挙	22,694	10,839	11,855
59. 11. 25	勝山市市長選挙	22,581	10,794	11,787
61. 7. 6	衆議院議員総選挙・参議院議員通常選挙	22,696	10,819	11,877
62. 4. 12	福井県知事・県議会議員選挙	22,677	10,786	11,891
62. 8. 2	勝山市議会議員選挙	22,594	10,737	11,857
63. 11. 27	勝山市市長・市議会議員補欠選挙	22,626	10,758	11,868
平成元. 7. 23	参議院議員通常選挙	22,779	10,826	11,953
2. 2. 18	衆議院議員総選挙	22,707	10,784	11,923
3. 4. 7	福井県知事・県議会議員選挙	22,599	10,721	11,878
3. 8. 4	勝山市議会議員選挙	22,538	10,693	11,845
4. 7. 26	参議院議員通常選挙	22,603	10,730	11,873
4. 11. 29	勝山市市長選挙	22,553	10,704	11,849
5. 7. 18	衆議院議員総選挙	22,710	10,756	11,954
7. 4. 9	福井県知事・県議会議員選挙	22,660	10,746	11,914
7. 7. 23	参議院議員通常選挙	22,852	10,841	12,011
7. 8. 6	勝山市議会議員選挙	22,744	10,797	11,947

28. 地区別基本選挙人名簿登録者数

平成7年9月2日現在(単位:人)

区 分	総計	勝山	猪野瀬	平泉寺	村岡	北谷	野向	荒土	北郷	鹿谷	遅羽	
登録者数	計	22,881	9,407	1,430	1,113	3,622	294	778	1,803	1,798	1,849	787
	男	10,859	4,416	690	536	1,743	126	369	851	858	896	374
	女	12,022	4,991	740	577	1,879	168	409	952	940	953	413

※猪野瀬には岡横江を含みます。

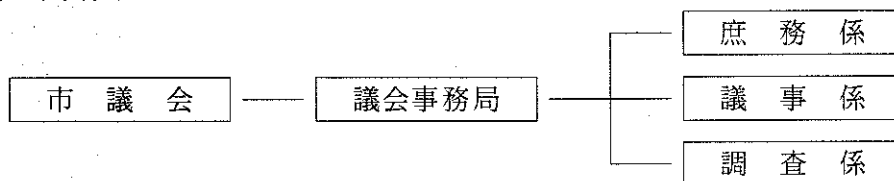
資料:選挙管理委員会

(単位：人・%)

	当日投票者数 (人)			投票率 (%)		
	計	男	女	計	男	女
知事	9,928	4,772	5,156	44.80	45.86	43.85
	20,562	9,508	11,054	93.18	91.62	94.57
	19,619	9,290	10,329	87.71	87.78	87.65
	18,598	8,839	9,759	83.28	83.50	83.07
知事	16,585	7,962	8,623	73.84	74.37	73.36
県議	16,583	7,962	8,621	73.83	74.37	73.34
	20,733	9,825	10,908	92.36	91.55	93.11
	18,255	8,705	9,550	80.97	80.74	81.18
衆議院	19,946	9,570	10,376	88.22	88.41	88.04
参議院	19,944	9,569	10,375	88.21	88.40	88.04
	13,208	6,286	6,922	58.69	58.34	59.00
	16,433	7,926	8,507	72.84	73.50	72.23
	16,246	7,820	8,426	71.71	72.27	71.20
	20,809	9,865	10,944	92.23	91.51	92.90
	18,604	8,925	9,679	81.98	82.34	81.64
	20,377	9,620	10,757	90.24	89.12	91.26
衆議院	19,258	9,210	10,048	84.85	85.13	84.60
参議院	19,251	9,208	10,043	84.82	85.11	84.56
知事	19,285	9,121	10,164	85.04	84.56	85.48
県議	19,287	9,121	10,166	85.05	84.56	85.49
	20,941	9,862	11,079	92.68	91.85	93.44
市長	16,724	7,916	8,808	73.91	73.58	74.22
市議補	16,715	7,908	8,807	73.88	73.51	74.21
	18,545	8,879	9,666	81.41	82.02	80.87
	19,551	9,224	10,327	86.10	85.53	86.61
知事	9,225	4,374	4,851	40.82	40.80	40.84
	20,707	9,673	11,034	91.88	90.46	93.15
	14,834	7,182	7,652	65.63	66.93	64.45
	15,308	7,172	8,136	67.88	67.00	68.66
	18,090	8,558	9,532	79.66	79.56	79.74
	18,475	8,637	9,838	81.53	80.37	82.58
	17,094	8,062	9,032	74.80	74.37	75.20
	20,217	9,469	10,748	88.89	87.70	89.96

資料：選挙管理委員会

29. 市議会の機構



30. 議会活動状況

(1) 本会議の状況

資料：議会事務局
平成7年1月～12月

区分	回数	会期日数	本会議日数
定例会	4	60	17
臨時会	3	3	3

(2) 委員会等の状況

区分	常任委員会			特別委員会										
	総務文教委員会	建設企業委員会	産業福祉委員会	決算	全員審査	下水道	地域振興産業	道路交通	対法恩寺山	リゾート開発推進	京福電鉄	越前本線	存続対策	議会運営
平成3年	—	—	—	13	8	4	4	4	3	—	—	—	8	3
4年	—	—	—	9	8	5	4	4	8	5	—	—	9	9
5年	—	—	—	7	9	5	4	4	4	4	—	—	12	10
6年	—	—	—	8	12	4	4	4	1	4	—	—	10	11
7年	5	8	4	13	9	4	4	4	—	4	—	—	13	10

(注) 法恩寺山リゾート開発推進特別委員会は、平成6年3月で廃止

◎7年9月から三委員会制度となる

(3) 付議事件の処理状況

区分	件数	可決(同意)	否決	修正決議	正決	認定	承認	継続審査	未了	議了	撤回
市長提出	条例案	26	26	—	—	—	—	—	—	—	—
	予算案	45	45	—	—	—	—	—	—	—	—
	決算	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	契約	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	同意案	7	7	—	—	—	—	—	—	—	—
	専決承認案	4	—	—	—	—	4	—	—	—	—
	諮問	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	
議員提出	条例案	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—
	会議・規則	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	意見書案	13	13	—	—	—	—	—	—	—	—
	決議案	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
選挙	7	7	—	—	—	—	—	—	—	—	
推せん	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
常任委員改選	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
決定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

31. 請願陳情処理状況

区 分	審 議 結 果					
	件数	採 択	不 採 択	審 議 未 了	撤 回	継 続 審 議
平成3年	52	46	1	2	—	3
4年	52	41	—	—	—	11
5年	57	45	1	3	1	7
6年	41	28	2	6	2	3
7年	31	21	1	8	—	1

資料：議会事務局

32. 歴代の市議会議長と副議長

議 長			副 議 長		
順 位	氏 名	就任年月日	順 位	氏 名	就任年月日
1	山 岸 太之助	昭和29. 9. 13	1	沢田治郎右衛門	昭和29. 9. 13
2	”	昭和30. 9. 2	2	前 川 俣 吉	30. 9. 2
3	中 村 精	34. 4. 9	3	松 山 吉 一	34. 9. 1
4	”	34. 9. 1	4	田 中 奥兵衛	35. 9. 6
5	平 井 彦五郎	35. 9. 6	5	小 林 清 栄	38. 9. 2
6	松 井 伝兵衛	38. 9. 2	6	島 田 實	39. 12. 4
7	田 中 奥兵衛	39. 12. 4	7	埴山 長右衛門	41. 1. 19
8	河 合 捨 治	41. 1. 19	8	四 谷 与 一	42. 3. 18
9	松 井 伝兵衛	42. 3. 18	9	島 田 慶 雄	42. 9. 4
10	四 谷 与 一	42. 9. 4	10	小 林 廣	44. 12. 15
11	石 田 巳代治	46. 9. 2	11	石 倉 清 治	46. 9. 2
12	島 田 實 也	50. 9. 4	12	今井 三右衛門	48. 9. 29
13	今井 三右衛門	54. 9. 7	13	西 出 巖	50. 9. 4
14	西 出 巖	58. 9. 5	14	武 内 盛 直	54. 9. 7
15	水 上 晟	60. 9. 20	15	水 上 晟	58. 9. 5
16	西 出 巖	62. 9. 10	16	横 山 定 衛	60. 9. 20
17	武 内 盛 直	平成元. 12. 19	17	畔 川 利 通	61. 12. 22
18	廣田 与三次郎	3. 9. 4	18	川 村 音 一	62. 9. 10
19	乾 吉 一	5. 12. 17	19	辻 一 敏	平成3. 9. 4
20	佐々木 隆 也	7. 1. 17	20	近 藤 栄 治	5. 12. 17
21	辻 一 敏	7. 9. 5	21	北 山 謙 治	7. 9. 5

資料：議会事務局

33. 市議会議員

議席番号	氏 名	所属常任委員会	議席番号	氏 名	所属常任委員会
1	山 田 安 信	総務文教	12	野 尻 佐太郎	建設企業
2	手 塚 貞 臣	産業福祉	13	嶋 田 政 憲	建設企業
3	安 居 久 繁	○産業福祉	14	佐々木 隆 也	産業福祉
4	小 林 喜 仁	○建設企業	15	近 藤 栄 治	産業福祉
5	椿 山 弘	○総務文教	16	辻 一 敏	産業福祉
6	酒 井 義 博	◎産業福祉	17	乾 吉 一	建設企業
7	松 井 拓 夫	◎総務文教	18	廣田 与三次郎	総務文教
8	斎 藤 節 治	◎建設企業	19	水 上 晟	産業福祉
9	藤澤 七郎兵衛	総務文教	20	武 内 盛 直	建設企業
10	岩 見 寿 信	建設企業			
11	北 山 謙 治	総務文教			

(注) ◎印：委員長 ○印：副委員長

資料：議会事務局